レンジフードファン
取扱説明書
保証書付

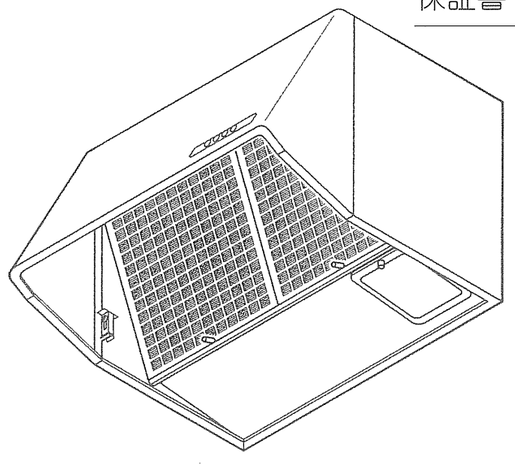
型式名：NBH-632/732/932
NBHW-632/732/932
BH-639/739/939

■ご愛用の皆様へ

このたびはレンジフードファンをお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書のP10が保証書となっています。
内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。

もくじ　　ページ

安全上のご注意 …… 1・2
各部の名前 …… 2
使い方 …… 3・4
ランプの交換のしかた …… 4
お手入れのしかた …… 5・6・7
故障かな?と思ったら …… 7
アフターサービスについて …… 8・9
仕様 …… 9
保証書 …… 10



生活ごこちを、カタチにします。
sunwave

1402　C882

■アフターサービスのお問い合わせ

修理の依頼・部品の購入・商品の取替えのご用命は
下記の「修理受付ダイヤル」までお願いいたします。（お近くのメンテナンスセンターに転送されます。）

0570-000258
市内通話料でOK　携帯OK

受付時間
AM9:00～12:00/PM1:00～5:00
（定休日／土・日・祭日）

＊一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
＊PHS・IP電話等は一部つながらないものがございます。

○北海道メンテナンスセンター　札幌市豊平区月寒東1条16-2-81　FAX011-853-3017
○東北メンテナンスセンター　仙台市泉区泉中央1-33-4　FAX022-218-3990
○関東メンテナンスセンター　東京都千代田区猿楽町2-6-10　FAX03-5280-8718
○中部メンテナンスセンター　名古屋市中区栄4-3-26（昭和ビル）　FAX052-261-4144
○関西メンテナンスセンター　大阪市中央区東心斎橋1-3-4（日生長堀橋ビル）　FAX06-6251-3897
○中国メンテナンスセンター　広島市安佐南区西原5-13-3　FAX082-832-5295
○九州メンテナンスセンター　福岡市博多区博多駅前1-5-1（朝日生命福岡ビル）　FAX092-472-1487

■商品についてのお問い合わせ
お客さまダイヤル　0120-190521
受付時間 AM9:00～12:00/PM1:00～5:00
（定休日／土・日・祭日）

＊上記の内容は、予告なく変更することがあります。

生活ごこちを、カタチにします。
sunwave

サンウェーブ工業株式会社
〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-10
TEL.03（3518）4311（大代表）

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告：	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意：	人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について次のような意味があります。

分解禁止	電源プラグを抜く	水掛け禁止
必ず行う	触れるな	一般的な禁止

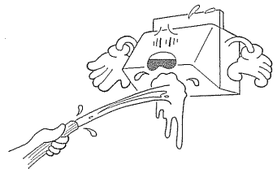
⚠ 警告

●感電の恐れあり
電球を交換する時は必ず電源プラグを抜いてから行なってください。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理･改造はしないこと
発火･感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、切／入しないこと
感電やけがをすることがあります。

●電気製品は、水につけたり水をかけたりしないこと
発火したり感電することがあります。



●本体各部に直接水やお湯、かび取り剤等をかけない
ショート・感電の原因になります。

●電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因になります。

●電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行う
抜かずに作業すると感電することがあります。

●ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない
爆発･引火の恐れがあります。

⚠ 警告

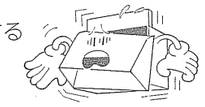
●やけどの恐れあり
指定以外の電球を使用しないでください。

●けがの恐れあり
お手入れの際はゴム手袋をお使い下さい。

●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。

●長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

●羽根や部品の取り付けは確実に行うこと
落下によりけがをすることがあります。



●運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。

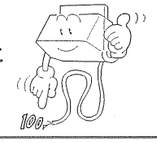
●調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないこと
フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。

●お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

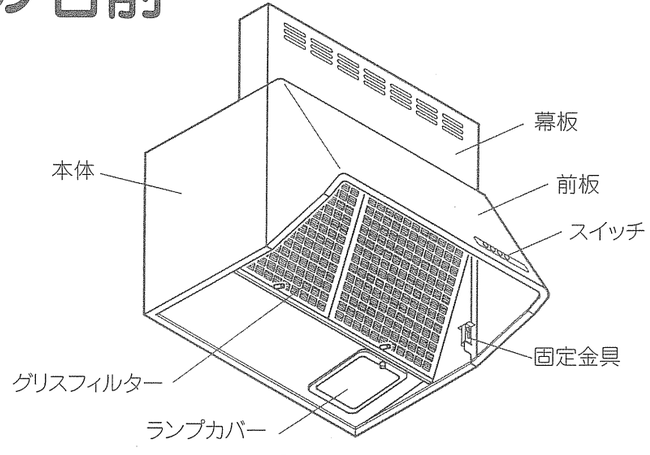
●本体に異常な振動が発生した場合、使用しない
本体、部品の落下によりけがをする恐れがあります。

●指定以外の電球を使用しない
ランプ部分が高温となりやけどをする恐れがあります。

●交流100V以外では使用しないこと
火災の原因になります。



各部の名前



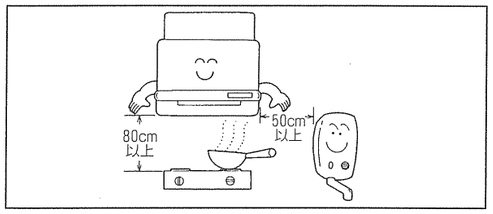
使い方

⚠ 注　意

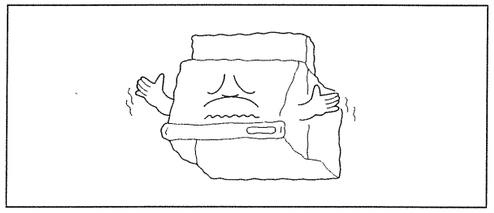
●運転中は危険ですから羽根の中に指やものを入れないこと
けがの恐れがあります。

ご注意とお願い　次の点を確認のうえ、正しくご使用ください。

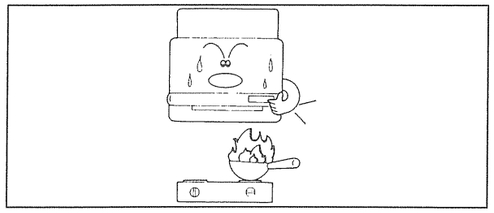
① 周囲温度が40℃以上では製品の故障の原因になります。図の寸法が守られているか確認してください。



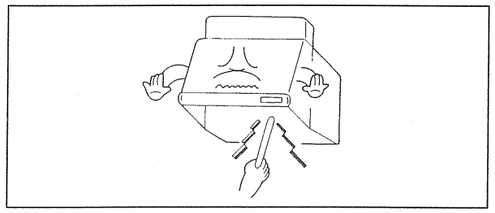
② 取り付けが不十分ですと振動したり、異常音を発生します。確実に取り付けられているか確認してください。



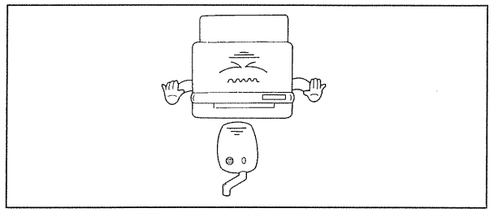
③ 誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、ガスを消すと同時にレンジフードファンの運転を停止してください。運転していますと火の勢いが強くなり危険です。



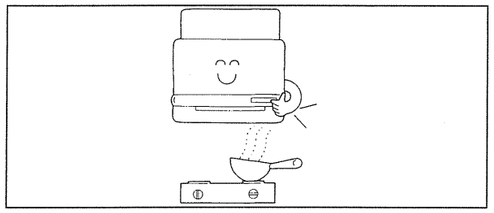
④ 回転中の羽根に手を触れないでください。
※けがの原因になります。



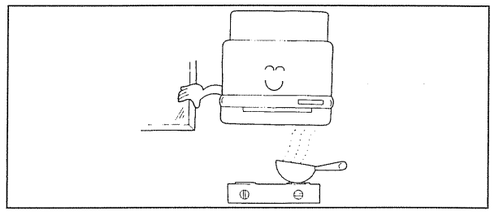
⑤ ガス湯沸器の真上に取り付けるとモーター燃損、排ガスによる塗装面のサビ発生の原因となりますので取り付けないでください。



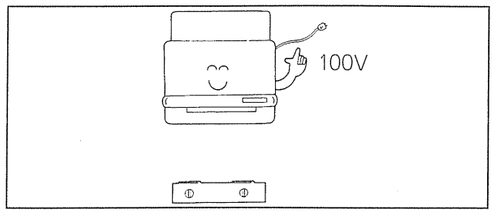
⑥ ガス器具、ガス湯沸器の使用中は、必ずレンジフードファンを運転してください。運転しませんと本体内の温度が高くなり故障の原因となります。またガス器具を長時間空だきの状態で使用しないでください。



⑦ レンジフードファンは、風の影響をうけやすいので、付近の窓を閉めて使用してください。

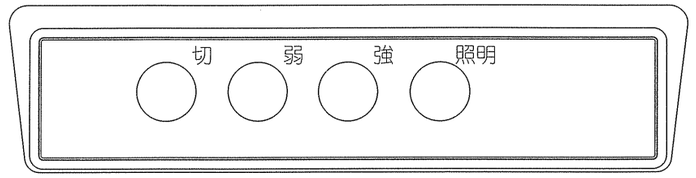


⑧ 配線工事は専門の電気工事店に依頼してください。電源は単相100Vをご使用ください。
200Vは使用できません。



■スイッチのボタンを押します。（「入」の状態ではボタンが引込みます。）

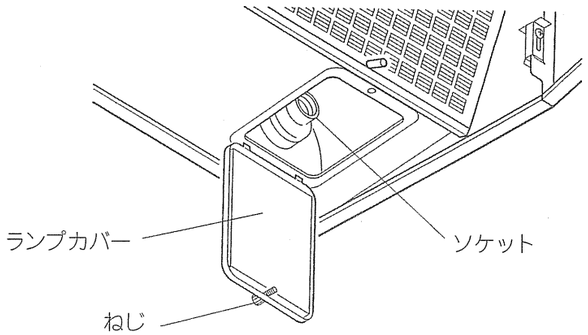
照明 …… ランプが点灯します。ランプを消すときは再度押してください。
強 …… 煙などが多く出るとき、早く排気したいとき。
弱 …… 煙などが少ないとき、長時間静かに運転したいとき。
切 …… 運転が停止します。（ランプは消えません）



ランプの交換のしかた

ご使用中ランプが切れた場合には、市販の**一般照明用電球（定格100V40W形）**を購入し、交換してください。

●ランプの交換方法
（1） ランプカバーのねじを外します。
（2） 切れたランプを取り外し、ランプカバー内のソケットに新しいランプを確実に固定します。



⚠ 注　意

● ランプの交換はスイッチの 照明 ボタンを「切」の状態にしてから行うこと

（照明ボタン「入」の状態 ……
照明ボタン「切」の状態 ……）

感電の恐れがあります。

お手入れのしかた

⚠ 警　告

- **お手入れの際は必ず電源スイッチを「OFF」にするか、分電盤のブレーカーを切ること**
- **ぬれた手でスイッチを入／切しないこと**
  感電やけがをすることがあります。

⚠ 注　意

- **点検時や長時間使用しないときは時は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ること。また、電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと。**
  コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。

⚠ 注　意

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること。**
  鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

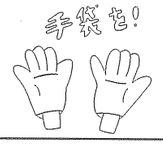
ご注意

- 突起や角でけがをしないように静かにふいてください。
- シンナー、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。
  変質・変色の恐れがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 60℃以上の熱湯は、使用しないでください。プラスチック部分が変形します。
- フィルターは、専用のものをご使用ください。
  一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり、音が大きくなり故障の原因となる恐れがありますので絶対に止めてください。

1.分解・組み立てのしかた

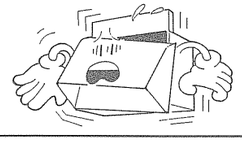
⚠ 注　意

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



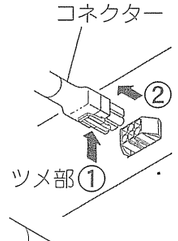
手袋をする

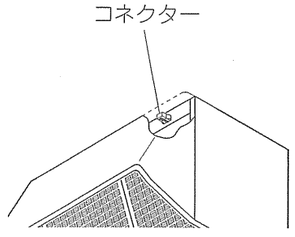
- **羽根や部品の取り付けは確実に行うこと**
  落下によりけがをすることがあります。



取付注意

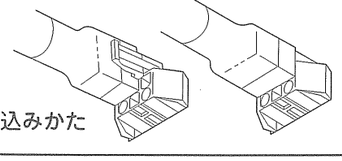
(1) コネクターを外します。
①のツメ部を押しながら、②方向へ引き抜きます。





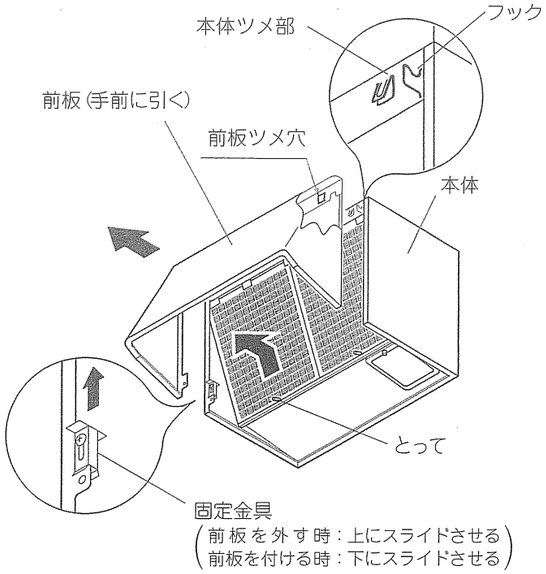
ご注意

取り付ける場合は、コネクターの向きを確認し確実に元まで差し込んでください。



誤った差し込みかた

(2) 前板を外します。
固定金具を上にスライドさせ、前板を手前に引いて外します。



ご注意

前板を外す場合は、前板上部裏ツメ穴が本体のツメ部から確実に外れているか確認してください。外れていないと前板のツメ穴や本体のツメが変形する恐れがあります。

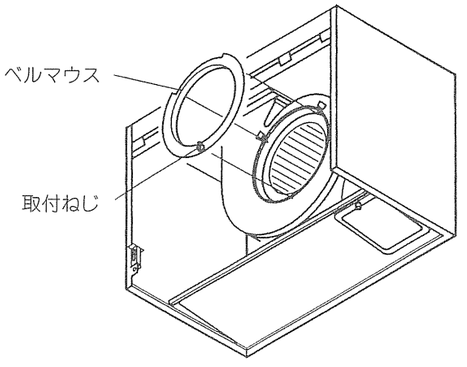
取り付ける場合は、前板をフックに引っ掛けた後本体ツメ部が前板の穴に確実に入るように前板を斜め上に押し上げて取り付けてください。

ご注意

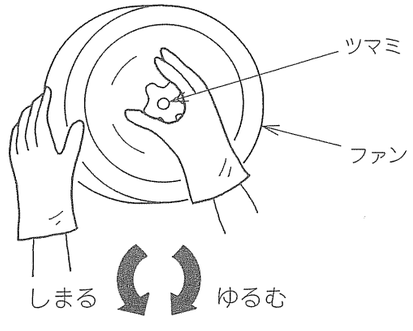
前板を取り付ける場合は、前板上部裏ツメ穴が本体のツメ部に確実に差し込まれているか確認してください。差し込みが不十分ですと前板が落下する恐れがあります。

(3) スロットフィルターを外します。
フィルターのとってを持って上にあげ、手前に引きます。

(4) ベルマウスを外します。
ベルマウスの取付ねじ1か所を手で緩めて、上部爪からスライドさせて、ベルマウスを外します。



(5) シロッコファンを外します。
ファンを押さえツマミを「ゆるむ」の方向に回して外したあと、ファンを取り出します。
取り付けるときは、ファンを元まで差し込みツマミを締めつけます。



ご注意

ファンをぶつけたり、落としたりして変形させないでください。
異常な音、振動の原因となります。

お手入れのしかた

2.お手入れのしかた

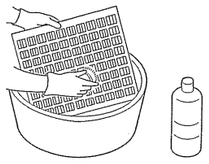
⚠ 警　告

●電気部分は、水につけたり水をかけたりしないこと
ショート·感電の恐れがあります。

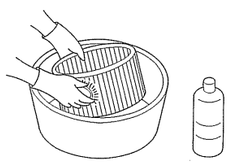
ご注意

●あまり汚れないうちに掃除してください。期間が長くなると、油がたまって汚れが落ちにくくなります。
特にスロットフィルター整流板は月に1度程度お掃除してください。
●60℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチック部品が変形します。
●アルカリ洗剤などは使用しないでください。

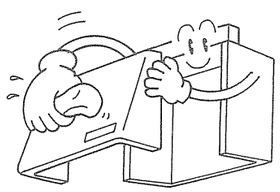
■フィルター
1ヶ月に1度程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■ファン·ツマミ
本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■本体
中性洗剤に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水を湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。



故障かな?と思ったら

●故障かな?と思っても良く調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼されるまえに、もう一度次の点をお調べください。

診　断	点　検	処　置
スイッチを「入」にしても シロッコファンが回転しない。	ブレーカーが「入」になっていますか。 コネクターが接続されていますか。	「入」にしてください。 接続してください。
運転中に異常音や振動が する。	羽根がしっかりと取り付けられていますか。 フィルターが正しく取り付けられていますか。	取り付け直してください。
照明を「入」にしても ランプが点灯しない。	ランプが切れていませんか。 ランプの取り付けがゆるんでいませんか。	交換してください。しっかりと 取り付けてください。
回転が遅い。 回転が不規則。	運転停止	修理を依頼してください。
焦げ臭いにおいがする。	運転停止	修理を依頼してください。

アフタサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買い上げいただいた販売店か、修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

1 点検·修理の申し込み方法

● 本説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧のうえ、一度調整をしてみてください。
● 点検をしても不具合が直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、自分で修理しないで、お買い上げいただいた販売店か、修理受付ダイヤルまで点検·修理を依頼してください。

2 保証について

● 取扱説明書のP10が保証書になっています。
● 必ず「販売店名·お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
● 保証期間はお買い上げ日から1年間です。
機器の販売後、機器の故障がある場合、一定条件のもとに無料修理に応ずることをお約束致します。
(詳細は保証書をご覧ください)
● 保証書を紛失されますと無料修理期間中であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

3 サービス部品(補修用性能部品)について

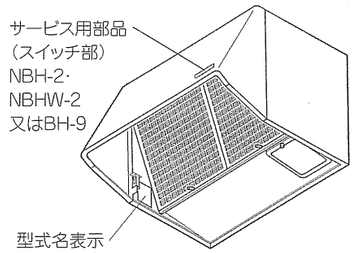
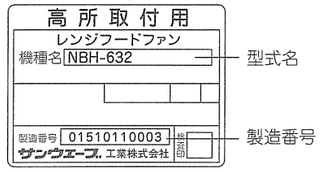
● 当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)
● 無料修理期間経過後の修理についてはお買い上げいただいた販売店か、修理受付ダイヤルまでご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。
● 部品の交換についてはお買い上げいただいた販売店か、修理受付ダイヤルまでご相談ください。

4 廃棄処分について

● 廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

5 お知らせいただきたいこと

■申し込みの際は次のことをお知らせください。

1. 品名·型式	型式名と製造番号もあわせてお知らせください。 ご注意 レンジフードファンの型式名は、本体の左側面内側に表示してあります。  〈例〉  ※取扱説明書にも型式名が表示してあります。
2. 状　態	どのようになっていますか? 故障と思われる状態を、できるだけ詳しくお願いします。
3. ご 住 所	ご自宅の住所、電話番号、お名前、付近の目印もお願いします。
4. 日　時	訪問ご希望日と時間をお願いします。

当社サービスセンター(修理受付ダイヤル)は裏表紙に記載しています。

アフターサービスについて

愛情点検

★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

仕様

型式名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m^3/h)	騒音 (dB)
NBH-632 NBH-732 NBH-932 NBHW-632 NBHW-732 NBHW-932 BH-639 BH-739 BH-938	100	強	50	101	590	42
			60	111	550	40
		弱	50	45	315	29
			60	45	290	27

測定はJIS C9603 による

メ　モ

レンジフード保証書

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

保証期間		お買上げ後1年間	お買上げ月日	年　月　日
☆お客様	ご住所			
	お名前	様　TEL		
☆販売店	住所		扱者印	
	名称	TEL		

1. 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が生じた場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店、または当社サービスセンター（修理受付ダイヤル）に修理をご依頼ください。
2. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、当社サービスセンター（修理受付ダイヤル）へご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
4. 保証書についての規定は、下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 保証期間内で取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の取付け場所の移動、落下等による故障、および損傷。
   （ハ）火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変や公害、異常電圧による故障、および損傷。
   （ニ）一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両への搭載）に使用された場合の故障、および損傷。
   （ホ）本書の提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ト）指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障、および損傷。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、または当社サービスセンター（修理受付ダイヤル）までお問い合せください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

〈個人情報の取り扱いについて〉

- お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動、およびその後の安全点検のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理やその確認業務を当社の関連会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行、または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提出いたしません。

お客様へ
この保証書をお受け取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることをご確認ください。

サンウェーブ工業株式会社
〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-10
電　話　03(3518)4311(大代表)

9003　5181

「前板の外しかた・取り付けかた」補足説明書

本製品の「前板の固定金具」は同封の取扱説明書または取付説明書で説明しているものと一部形状が異なっております。「前板の外しかた・取り付けかた」に関しては本補足説明書の内容に読み変えて作業を行ってください。
尚、この補足説明書は付属の取扱説明書または取付説明書と併せて保管してください。

⚠ 注　意

必ず守る

●前板の取り付けは確実に行う。

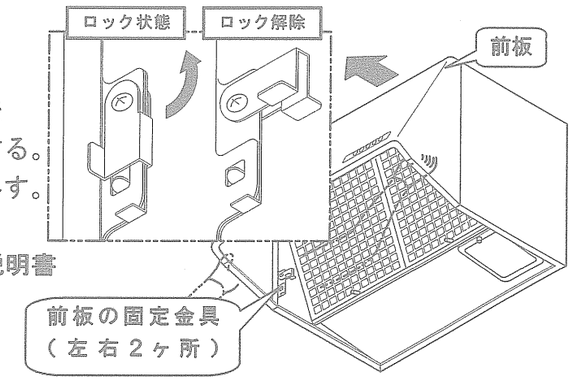
確実に取り付けが行われないと、ご使用の際に前板が落下しケガの恐れがあります。

ご使用の製品により、本文中のイラストと若干意匠が異なる場合があります。

前板の外しかた

① 前板の固定金具（左右２ヶ所）を内側に回転させ、ロックを解除する。
② 前板を両手で持ち手前に引いて外す。

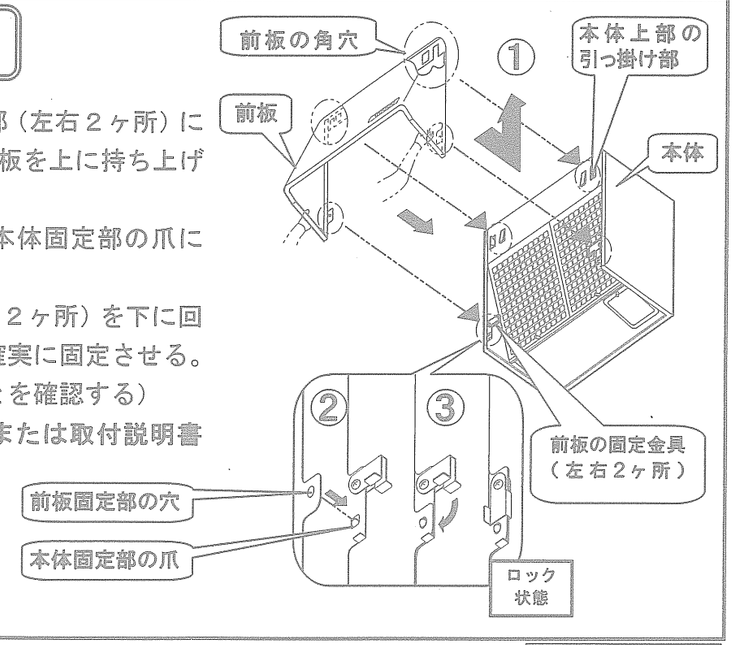
※ その他は取扱説明書または取付説明書を参照してください。



前板の取り付けかた

① 本体上部の引っ掛け部（左右２ヶ所）に前板の角穴を入れ、前板を上に持ち上げて引っ掛ける。
② 前板の固定部の穴を本体固定部の爪に確実にはめ込む。
③ 前板の固定金具（左右２ヶ所）を下に回転させ前板と本体を確実に固定させる。
（前板が外れないことを確認する）

※ その他は取扱説明書または取付説明書を参照してください。



9003　5181